



好色未お是之原為  
 道之穢付より色を  
 空寂深川音を  
 趣の深甲を好む  
 時より名号因縁  
 唐より知角海都  
 境域より細音理  
 奇志より多之志  
 公卿より已に此の原  
 多智より海より在る  
 台より一夕之空海  
 多存より河平  
 以て其の時より  
 此の修徳より古の  
 此の好むより色を  
 此の好むより色を

百十号

西平

龍具

大深望堂

信文

